

今年は、御所沼の水質を改善するために沼の水抜きを行っています。水抜きは1月4日から始まり、沼の半分くらいを干拓水門のところにポンプから放水して、代わりに管理棟前にある井戸水の管から、きれいな井戸水を入れています。さて桃まつりの頃にはきれいな御所沼にリフレッシュしてるかな？



御所沼に大放水！水質改善大作戦



御所沼南面の全面結氷

③

今年になってやっと、この時期（1月12日）に御所沼南面の全面結氷を見ることが出来ました。北側は地下水を入れていることもあって今年は全てが凍ることは無さそうです。この結氷を見るには、前日の夜に冷え込んだ翌朝に来ると見ることができますよ。しかしくれぐれも氷の上には乗らないようにしましょうね。

冬は双眼鏡片手に！公園へ

冬は木々の葉が少なくなって、野鳥が見やすく観察するには、絶好の季節です、冬だけしか見れない鳥も沢山います。今週（1月6日～12日）に公園内で観察された野鳥たちです。

- ④ツグミ スズメ目ヒタキ科ツグミ亜科
- 冬鳥 撮影場所：中山台、虚空蔵様前の木
- ⑤ジョウビタキ スズメ目ヒタキ科ツグミ亜科
- 冬鳥 撮影場所：古民家前の小道
- ⑥オオバン ツル目クイナ科 北日本は夏鳥
- で東北地方南部から留鳥 撮影場所：御所沼
- ⑦コサギ コウノトリ目サギ科 留鳥

- 撮影場所：蓮池
- ⑧コガモ ガンカモ目ガンカモ科 冬鳥
- 撮影場所：御所沼南面

出典：フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』



②

古民家前の紅梅の開花を確認したのは、1月8日で今年も例年並みの開花でした。まさに新春の息吹に相応しい慎ましやかで鮮やかな紅い花ですね。見頃は1月中旬～2月初旬です。梅園には約30種類の梅がありますが、白梅の見頃はもう少し遅くて2月初旬頃です。



公園にも春の訪れ



④



⑤



⑥



⑦



⑧



春の足音が聞こえます。

今年、暖冬と言われていますが、公園にも春の兆し<sup>きざし</sup>が着々と見られます。芽<sup>だんとう</sup>が出てきた菜の花や寒々としたように見受けられる桃林も良く見ると、ほら、枝の先にはふつくらと小さなツボミが見られますよ。写真の桃木は矢口<sup>やぐち</sup>と言う品種<sup>しゅ</sup>です、あと約一ヶ月もすると左の写真のように公園をピンクに染め上げます。乞うご期待<sup>ごたい</sup>！

杉をみるとくしゃみ  
出ませんか？

春になるとスギをやっかい者扱いしてませんか？  
2月から4月にかけて花粉を飛ばし、日本全国をくしゃみの渦に巻き込みますが、スギはヒノキ科の常緑高木、日本特産の針葉樹です。その性質から、日本では昔から建材として重宝されてきました。公園で見られるヒノキ科の木はヒノキやサウラが主で、スギは徳源院跡に大きな木が生えています。会いに行ってみませんか。  
出典参考: フリー百科事典『ウキペディア (Wikipedia)』



ジェラテリアの  
ミステリーサークル！？

雪華園のジェラテリア前の芝生にある、まん丸お目目さんはなんだろうって思いませんか。実は雪華園には八つの意味が象徴的に示されているんですよ。このサークルは、雪華園に隠された八つの「秘密」の一つなんです、テーマは「人間と農業」です。さて意味は？みんなで考えてみましょう。



くぼうさま  
公方様の森のさんぽみち

この冬のあいだに、総合公園で活動している「もりもりクラブ」が公方様の森の南面の林の整理を行いました。ツタや笹などが密生し枯れた木や生長の悪い小木を刈って、日当たりの良い里山環境づくりに挑戦しました。その結果、南面の小道はすっきりしてお散歩もウキウキ楽しく出来そうです。もりもりクラブでは随時メンバーを募集していますよ、興味のある方は管理事務所まで。



工事中ご迷惑をおかけします！

この看板は、蓮池水路沿いの小道にあります。この道は大雨が降るたびに冠水して足元が悪くて通れなくなっていました。もともと低い土地なので台風の時などは沼状になってしまいますが、このたび道を盛土・かさ上げをして、雨の影響を少なくするように、工事をしております。工事は2月下旬には終わる予定です。それまでは、少しお待ちください。



花桃を楽しんだら、次は春の野の花もみつけてみよう。



### ニホンタンポポ

ニホンタンポポは日本に古くからいた在来種で、キク科タンポポ属の多年草植物です。ニホンタンポポは開花が春の一時期に限られていて、今この時期に見ないと見逃してしまいます。この写真は天神橋の南側に咲いているのを撮影しました。是非そっと見てあげてくださいね。ちなみに西洋タンポポは春から夏にかけて長く開花し、総苞が開いているのが特徴です。

※総苞とはつぼみを包んでいた葉のことです。



### オオイヌノフグリ

オオイヌノフグリはゴマノハグサ科クワガタソウ属の越年草です。3月から5月にかけて小さな可愛い花を咲かせます。オオイヌノフグリは帰化植物で100年ほど前にヨーロッパから入ったようです、もともと日本には、オオイヌノフグリより花の小さい同じ種の植物でイヌノフグリと言うものあって、こちらはいまでは絶滅危惧種になっているようです。このオオイヌノフグリは園内至る所で咲いていますが、写真は御所沼南側の相ノ谷橋付近の土手で撮影しました。

### ホトケノザ

シソ科オドリコソウ属の一年草あるいは越年草で、花期は3月～5月、畑の畦や道端などでよく見られる植物です。まっすぐ上に向かった茎に丸く葉っぱがぐるりと囲んで、名前の通りの仏の座を形成しています。その上にちょこんと乗った花は、なんだか薄紫の法衣を着て座禅を組んだ仏様に見えませんか。ところでこの植物は食べられません、春の七草にもホトケノザと言う名前の植物があります、こちらはコオニタビラコというキク科の植物のことで、こちらは七草粥として春先に邪気を払うとして食べられてきました。この写真は古民家前の茶の木の下で撮影しました。



### アセビ

アセビはツツジ科の低木で、日本に自生してきた植物です。アセビには有毒成分が入っていて、草食動物も食べません。馬酔木と書いてアセビと読ませるくらいなので、馬でも酔うほどなのでしょう。花期は3月中旬～4月上旬で薄紅色の壺状の花を咲かせます、公園では管理棟の周辺に植えられています、探してみてくださいね。



### スイセン

スイセンはヒガンバナ科スイセン属です。多年草で冬から春にかけて白や黄色の花を咲かせます。日本スイセンは古来に中国を経由して渡ったと言われていますが、今では沢山の品種に分れいろいろな花を楽しむことができます。公園では管理棟の付近や梅園に植えられていて、特に梅園では梅花の終わった後に沢山のスイセンの花が顔を覗かします。梅園に植えられている品種は、テイタテート、オレンジリー、サロメです。

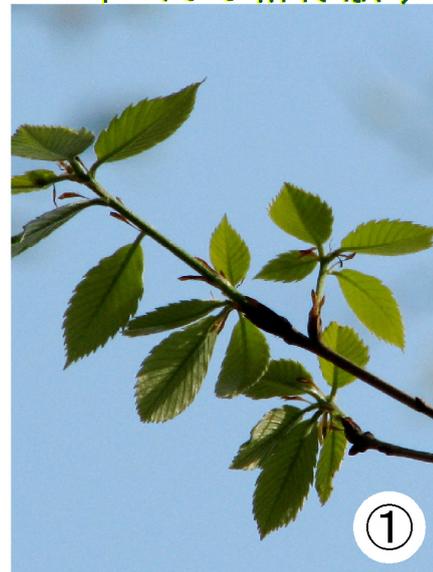


### ボケ

ボケはバラ科の落葉低木で実が瓜に似ていることから木瓜と書き、その実を果実酒に入れて利用することもあるようです。ボケは中国原産で平安時代に伝わったとされていますが、その真っ赤な花の他にピンクや白などの品種があり、春先に花を咲かせますが、寒木瓜などと言って11月頃に花を咲かせるものもあります。この写真は管理棟の付近で3月6日に撮影しました。



公方様の森を彩る新緑は？



①



②

公方様の森の名の由来は、室町時代に当時の幕府と対立しこの猿島台地の先端に位置するこの場所に、一時期居を構えた、古河公方・足利成氏に由来するもので、今でも当時の土塁と堀の跡が残っています。公方様の森のおもな高木は、シデ・コナラ・クヌギなどの落葉樹です、他にもエノキ、ヤマザクラ、松などの樹木があります。落葉樹は春になると新しい葉を出し、この時期は一日ごとにぐんぐん伸びて森を美しい新緑で覆っていきます。写真①はコナラの新葉です。コナラはブナ目ブナ科コナラ属の落葉広葉樹で、春に花が咲き、秋には種子（ドングリ）が実ります、コナラは枝を伐採しても成長が早く、クヌギと並んで里山の薪林となつて、化石燃料にとって代わられるまで、近隣の里の人達の生活を支えてきました。写真②は、アカシデの幼葉です、アカシデはカバノキ科の落葉高木で、写真のように新芽が赤くなり、秋には赤く紅葉するところから、アカシデと言う名前が付いたようです。



③

クサイチゴの花が

咲いています

クサイチゴはバラ科キイチゴ属の植物です。春に花を咲かせると5月か6月頃に赤い実を付けます。果実は甘酸っぱくてさわやかな味ですが、でも触るときは小さなトゲがありますから注意して触ってくださいね。菖蒲園の西側林の中にまとまって咲いています。



④

愛宕川が見えるのは今のうち

新久田道沿いに公園の南東沿いをぐるりと流れる愛宕川今のうちはまだまだ水路が見えていますが、そのうちイネ科のヨシに覆われて見えなくなってしまいます。ヨシはアシとも呼ばれ、その成長の早さから水の浄化には重要な役割を果たして、湿原の代表的な植物です。また水生昆虫や魚、鳥の隠れ家となつて、その周りには沢山の生物が育ちますが、人間にも昔からヨシズなどに利用されてきました。昔は御所沼は渡良瀬川や利根川とつながっており、星の形をした大きな湿地だったといわれています。その湿地にも沢山のヨシが生えて、その周りに暮らす生物や人々に恩恵を与えてきたと考えられます。

上記記事

出典参考: フリー百科事典『ウイキペディア (Wikipedia)』

クマバチ出動

中山台の菜の花畑をブンブンと音をたてて飛び回っているのは、クマバチです。ミツバチ科クマバチ属でその仲間は沢山の種類がいるようです。この写真のクマバチはキムネクマバチだと思われませんが、その丸くて大きな体はお花畑の主役です、その大きな体に似合わず、性格は大人しくオスは刺しません。一生懸命になって菜の花の蜜を吸いに来ている姿はかわいらしいですね。菜の花のほかに藤の花の周囲でも見かけます。



⑤



①

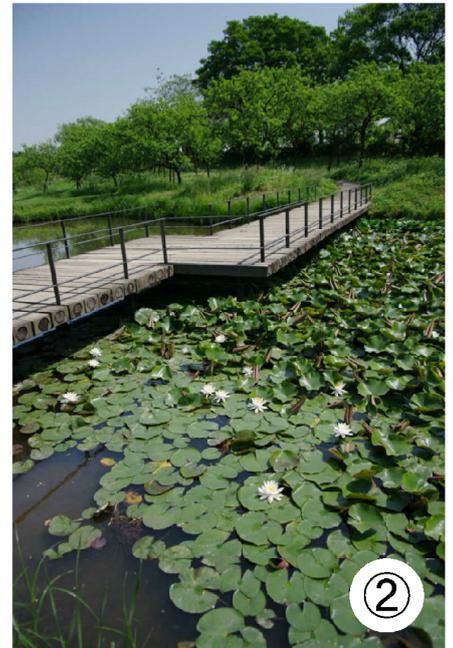


### 四つ葉は、見つかったかな？

富士見の丘には、たくさんのシロツメクサが生えています。遠目に見ても白いかわいい花が見えますよ。毎日子供たちが四つ葉のクローバー探しをしています。気持ちのいい芝生とクローバーの絨毯に寝転んで空を眺めてみませんか？



浄円坊池のスイレンは、今が旬です。



②

中山台と徳源院跡に挟まれた、浄円坊池には今が旬のスイレンが咲いています。スイレンは5月上旬から咲き始まって、今月いっぱいは見れそうです。池の橋から見るスイレンの花は白く上品で美しいですね。

### 小麦色になったら収穫です。



③



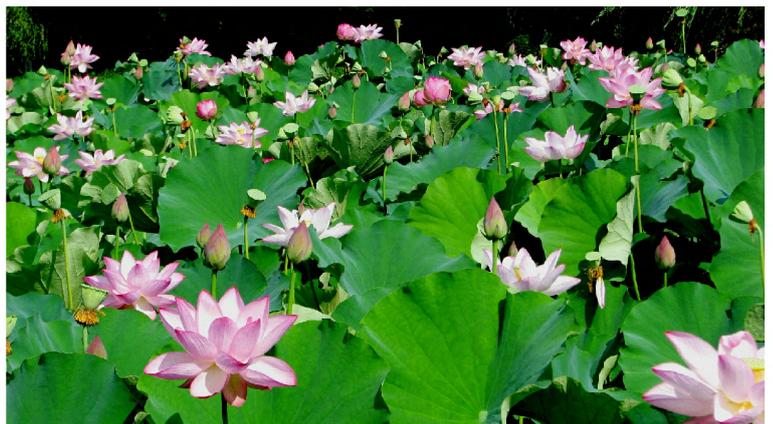
中山台で、去年の11月に種まきをした小麦が大きく実をつけました。これから小麦色（黄土色）に実が色づいたら収穫です。小麦はイネ科コムギ属の一年草です、原産は中央アジアだと言われていますが、古くから栽培されてきて、その地域の人々にとって大事な食料となっています。また、麦の種類も沢山あり、大麦・小麦・ビール麦・ライ麦・はと麦などそれぞれに特徴を生かし、パンやパスタ、うどんやラーメンいろいろな食品を作り出してきました。公園の小麦も6月には刈り取られ、クジャクの餌として利用されます、それまでの間、中山台の農地の風景をお楽しみください。

### 水面から出るトンガリ頭は？



④

蓮池にはついこの間までなんにもなかったのに、今ではもうたくさんのトンガリ帽子をかぶった蓮の芽が沢山でてきました。5月中には蓮池をおおいつくす勢いで伸びていくことでしょう。ハスとスイレンは似ていますが一般的に大きな違いは、スイレンの葉や花が水面に浮んで開くのに対し、ハスは水中から力強く空中へ伸びて葉や花を咲かせます。蓮池が下の写真のようになるのはあと2ヶ月足らず、待ち遠しいですね



芝生の中からこんにちは

雪華園の芝生からたくさん顔を出しているこの花、みなさんご存じですか。この花はニワゼキショウと言いアヤメ科ニワゼキショウ属の一年草です。

ショウブやアヤメの仲間で、直径7~8mmほどの小さくてかわいい花は印象に残りますね。6月いっぱいは見れますよ。



水鶏坂はこもれび坂

旧中山家前から、御所沼に下る坂道は「水鶏坂」と言います。名付けたのは古河総合公園作りに携わった中村良夫氏で、それはやがて御所沼に水鶏が戻って来ることを祈ったのでした。この坂は、公方様の森に生えるシデ、コナラと梅林との境にあって、林を通して漏れてくる木漏れ日の美しいところです。



②



③



④



総合公園のハナショウブ咲き始めました。

ハナショウブが今年も咲き始めました。ハナショウブはアヤメ科のアヤメ属で、乾燥した土で育つのがアヤメ、湿ったところで育つのがハナショウブです、どちらもきれいで見ていて飽きないですよ。ちなみに

菖蒲湯に使われる菖蒲は、別の種類でサトイモ科の植物です。



⑤

アジサイの径

桃園の道沿いに植えられているアジサイが咲き始めました。アジサイの花色は植えられた土壌や植えられたからの日数によって、色々変化します。これから6月いっぱい楽しめますよ。アジサイの径を散歩してみませんか。

上記記事 出典参考: フリー百科事典『ウイキペディア (Wikipedia)』

ハス池の隣で咲き始めたよ。



ハス池の隣で咲き始めたのはミソハギです。これはミソハギ科の多年草で、日本と朝鮮に分布しています。昔は、田んぼの畦とか、湿地などに生育し、お盆の季節にたくさん咲くことから、盆花として仏前に供えられてきたので、別名を精霊花とも言うそうです。ハスの花と共に日本の古い風景を残す、この道で遠い昔の記憶を思い出してみませんか。



御所沼はトンボの楽園

沼の畔にたくさん生えているヨシの周りではヒラヒラビュンビュンと今年もトンボの季節がやってきました。トンボは、稲の害虫や蚊などを食べてくれることから田んぼの神様と呼んでいる地方もあるようです。写真左は、ショウジョウトンボ、右はチョウトンボです。そのほかにヤンマ類やイトトンボ類などもたくさんの種類がいますよ。



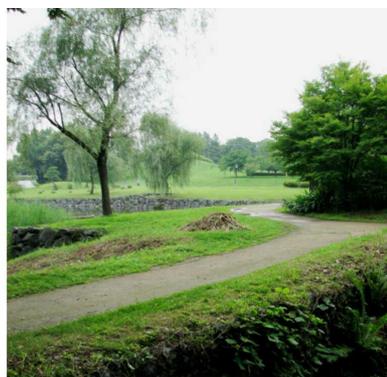
ハス池は大人気

総合公園の夏の代表花は、もちろんハスの花です。公園が出来た当初から親しまれ、もう30年以上になります。総合公園を毎日散歩している人にとってはおなじみですが、ハスは午前7時～9時くらいが一番花が開いた状態です。これから暑い時期が続きますから、是非見るときは涼しい早朝散歩を楽しみましょう。



芋ころがし坂を飾るのは

春には満開だった桜の花は、いまでは葉が生い茂り、やさしい木陰をつくっています。その桜の木の下でこれから花を咲かせようとしているのはハギです。ハギはマメ科ハギ属の総称ですが、花は7月～10月までの長い期間に渡って咲き、また秋の七草に数えられています。これからはばらく芋ころがし坂を飾ってくれる、この花を楽しみたいですね。



メガネ橋を流れる水

管理棟から公方様の森へとつづく小路には、小さな橋が架かっています。コンクリート製の土管を2本置いて上に石や砂利を積み重ねて橋にしています。この土管を通る水は御所沼から、公方様の森沿いのヨシの生えた浅瀬を通り浄化されて、汲み上げポンプにより二入川へと送られます、そして二入川の早い流れにより水に酸素が取り込まれ滝となって御所沼に注がれます。そして御所沼のたくさんの命の源になっていますよ。でもこの橋メガネに見えませんか？



上記記事 出典参考: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』



①



②

公園の南、御所沼の畔にあるホッツケ田では、どろんこクラブが育てている黒米の稲がすくすくと育っています。5月末に田植えをした時には10cm程しかなかった丈はもう60cmを超えました。気温の高い日が続く夏の間、水が枯れないようにせつせと水遣りをして育てます。そして9月には、②のように稲が実ることでしょう。稲刈りまでは、カカシさんホッツケ田を見守ってください。

## ホッツケ田の 番人カカシさん

大賀蓮の花は咲き終わりましたが、そのすぐ隣ではミソハギの花が咲き始めています。ミソハギは日本で昔から親しまれてきた花で、湿地や田んぼの畦によく生え、お盆の頃に咲くことから仏前に供える花として使われてきました。別名を盆花とも言います。ミソハギの見頃は8月いっぱいです。日本の里の花をぜひお楽しみください。



③

## ミソハギのお花咲いた。



⑥



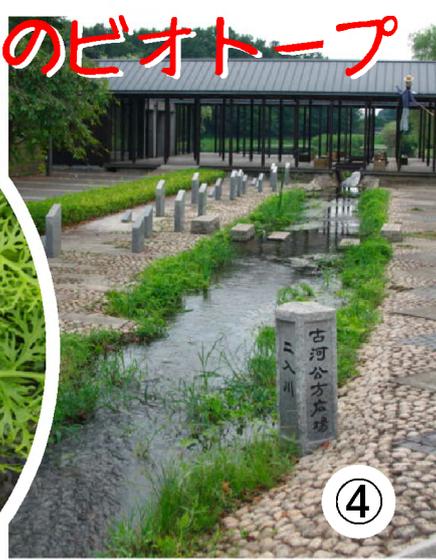
⑦

公方広場を流れる川は二入川と言います。この川には貴重な生物がたくさん住んでいます。⑤はミズワラビと言う植物です。⑥はテナガエビ⑦はアジアイトトンボです。他にもいろんな生物がいます。皆さん見に来てください。

## 公方広場のビオトープ



⑤



④



②

ドングリころころ

公方様の森には、コナラやクヌギなどドングリのなる木がたくさんあります。写真右のドングリはクヌギ、左はコナラです。森の中でドングリを見つけたら、ぜひ上を見上げてドングリのなっている木を確かめてみてください。葉の形や幹の肌の感触を覚えてね。他にもドングリのなる種類の木がありますから、探してみてくださいね。

公園の中央に位置する虚空蔵様と桃林との境界に、今年もヒガンバナの花茎が出てきました。ヒガンバナはちょうど彼岸の頃に咲くことから彼岸花といわれますが、実は他にも名前がたくさんあって、一説には日本で一番名前の多い植物と言われています。昔から田んぼや墓地の境界などに植えられ、里の秋を代表する花です。この公園で火災のように咲き誇る妖艶な花をお楽しみください。



ヒガンバナ  
は火炎花

①



③

ホツケ田  
の黒い稲穂

ホツケ田では、今年も「どろんこクラブ」が育てて大きくなった稲が、重そうに穂を垂らしながら実っています。この稲穂よく見ると何だか黒っぽいのに気がつきませんかそれは、このお米が黒米（くろまい）だからです。黒米は古代米とも言われ赤米や紫米などと共に古代の日本で栽培

されていたお米と言われていています。どろんこクラブでは9月下旬に稲刈りの予定です。



④

秋の七草の一つです。

この花は、何だかわかりますか。秋の七草の一つで、クズの花です。夏から秋にかけてご覧のように、あでやかに花を咲かせるクズですが、その旺盛な繁殖力から、公園の管理にとっては厄介者の一つです。外国では最初は緑化のために日本から移植されましたが、今では侵略的外来種に指定されているほどです。日本では昔からその強いツルを農作業に用いたり、クズの根を精製して葛粉を作ったりして利用してきましたが、近年になると利用されることもなくなり、はびこる一因となっています。



⑤



芋ころがし坂  
のハギ

芋ころがし坂では、ハギの花が見頃を迎えています。ハギはマメ科ハギ属とヌスビトハギ属などの植物の総称です。日本人には、古くから親しまれ、秋の七草の一つ、また「万葉集」にも詠われ、中秋の名月にはススキと月見団子と共に月に供えられます。公園には、ヤマハギ、マルバハギ、ミヤギノハギなどの種類が植えられています。

上記記事 出典参考: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

## ドングリころころ転がった

今月の台風で公園のクヌギやカシの木からは、たくさんのドングリが落ちました。特に公方様の森はドングリの宝庫です。どングリには昔ながらの色々な遊び方があります。もりもりクラブの川田さんが教えてくれました。

### ①どングリトトロ

ドングリにホワイトの修正液でお腹と目の形を塗って、そのなかに黒の細いペンで目と模様を書き込めば出来上がり。右側の写真です。

### ②ドングリコマとヤジロベイ

ドングリコマはドングリのお尻に爪楊枝を刺すだけです。写真下の右側です。

ヤジロベイは真ん中の芯になるドングリの両脇から斜めに爪楊枝を刺して、その両端にバランスをとりながらドングリを刺して出来上がりです。写真下左が完成品。



②



①



④

## 夕焼けがきれいです。

秋になると空気が澄んで、御所沼に沈む夕日がロマンチックです。真っ赤になった夕焼け雲が御所沼の水面に映り、まるで別世界のようにです。今の季節なら午後5時前後、夕日の沈む直前がきれいです。



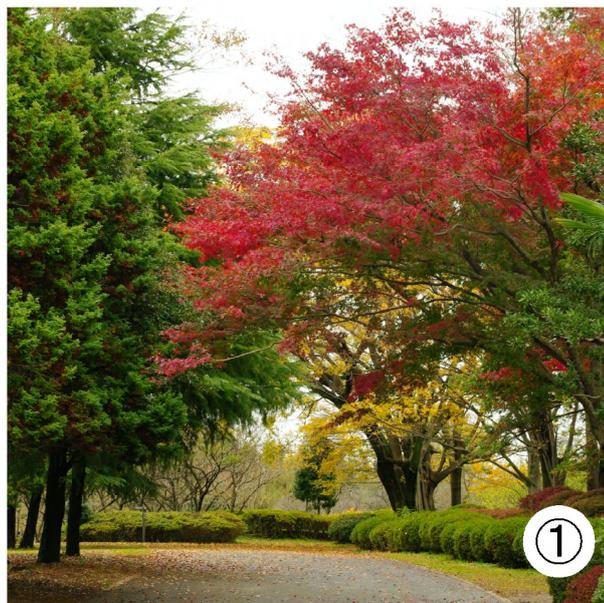
③

## 中山台のコスモス畑

コスモスと言えば秋を代表する花ですが、古河総合公園でも中山台に種をまきました。このコスモスは11月7日～8日のよかんべ祭りに合わせて咲くように調整しています。今はまだ芽が出てつぼみの状態（写真は平成19年のものです）ですが、来月には満開の花が見られるように期待しながら、徐々に咲いていくコスモスの花を観察しませんか。

## あなたのお気に入り紅葉ポイントはどこ？

古河総合公園もいよいよ秋本番です。園内にはたくさんの紅葉する樹木があり、それらは主に落葉樹で種類によって紅葉する時期が異なります。園内ではじめに紅葉（黄葉）するのはユリノキとカツラで、駐車場の周辺や中山台にたくさん植えられています。次にトチやサクラ、カエデ、ケヤキやエノキ、ドウダンツツジなどが続きます。そしていよいよ秋が深まると、公方様の森の主要樹木であるクヌギやシデ、コナラなどが紅葉して公園の紅葉シーズンは終わりを迎えます。公園散歩の折には、自分のお気に入りの紅葉ポイントを探してみてはいかがでしょうか。



### 紅葉（黄葉）のしくみ

赤い葉と黄色い葉は、色づく仕組みが違います。赤い葉は寒くなるにつれ蓄えられた糖分などが紫外線の影響で赤い色素「アントシアニン」に変化して赤く変色します。黄色い葉は最初から黄色い色素「カロテノイド」を含んでいますが、寒さにより葉緑素が分解されて無くなり、最初からあったカロテノイドが目立つ事により黄葉します。



①遊具広場のイタヤカエデとケヤキ

②公方様の森のイロハモミジとシデ

③古民家園前の茶畑より春草席を眺める

④星湖釣殿と公方様の森のシデ、コナラ

# 冬は落葉樹の観察をしよう！

## 樹形



① ユリノキ



② ケヤキ



③ カワヤナギ

落葉高木のユリノキは、駐車場の周りを囲むように生えています、まっすぐ伸びた一本の主幹から次々に枝が出ています。

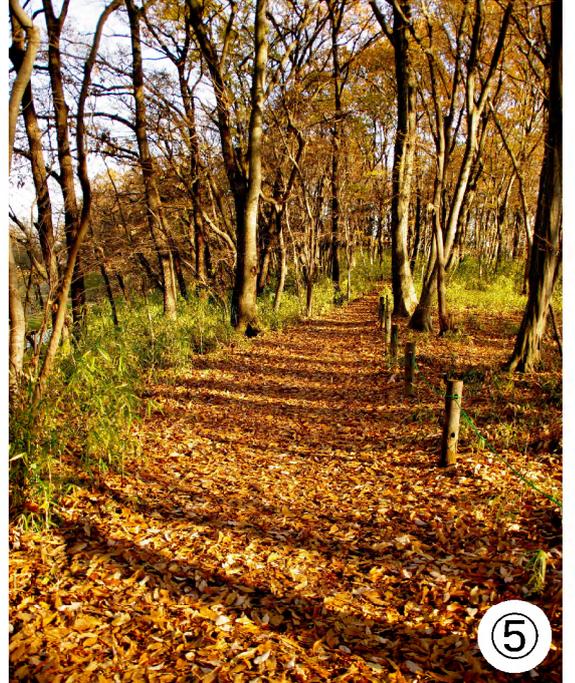
この樹木は皆さんわかりやすいね？幹の途中から一斉に枝分かれして大きく広がり丸い樹形となっています。これは、落葉高木のケヤキです。

この樹木は分かれた枝がしなるように垂れ下がってしだれ形になっています。これは落葉低木のカワヤナギ（ネコヤナギ）です。水辺に生えています。



## 葉形

④



⑤

足元の落葉を良く観察してみましょう。主に3種類の葉が見つかります。形が違いますね。上の写真右から、クヌギ、コナラ、シデノキです。どれも落葉高木で主に公方様の森を構成する樹木です。春になったらこの葉がどんな木に付いているか確かめてみましょう。

他にも樹木を見分ける方法はたくさんあります。木肌、花や果実、どんな所に生えているかなど、これから春になると出てくる芽も特徴があります。冬の公園散歩楽しんで下さい。